

コンタクトオーガニクス・ホームセーフプラス **AL** スプレー混合液

安全データシート

**1. 化学品及び会社情報**

製造者情報詳細	コンタクトオーガニクスピーティワイ社
住所	スイート 43, 45 リバーズデールロード, ハウソーンイースト, ビクトリア州 3123, オーストラリア
輸入者情報詳細	株式会社ドゥートレーディング
住所	〒183-0005 東京都府中市若松町 1-2-5 芽生会 BLD. 301
電話	042-352-0102
メールアドレス	p.hidaka@contactoragnics.com
緊急連絡先	080-4179-2180
推奨用途及び使用上の制限	非農耕地専用除草剤

**2. 危険有害性の要約**

製品の GHS 分類、ラベル要素

GHS 分類	皮膚腐食性/刺激性	区分 2
健康に対する有害性	眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性	区分 2
	特定標的臓器毒性 (単回ばく露) : 区分 2(血液、呼吸器系)	
	(注)記載なき GHS 分類区分: 該当せず/分類対象外/区分外/分類できない	

GHS ラベル要素



危険喚起語	警告
危険有害性情報	皮膚刺激をおこす 強い眼刺激をおこす 臓器の障害の恐れあり
安全対策	粉じん/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレーを吸入しないこと。 取扱い後は汚染箇所をよく洗うこと。 保護手袋を着用すること。 保護眼鏡/保護面を着用すること。
応急処置	この製品を使用するとき、飲食又は喫煙をしないこと。 ばく露又はばく露の懸念がある場合: 医師に連絡すること。 皮膚に付着した場合: 多量の水と石けん(鹼)で洗うこと。 皮膚刺激が生じた場合: 医師の診断/手当てを受けること。 汚染された衣類を脱ぎ、再使用する場合には洗濯をすること。 眼に入った場合: 水で数分間注意深く洗うこと。コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。 眼の刺激が続く場合: 医師の診断/手当てを受けること。
廃棄	内容物/容器を地方/国の規則に従って廃棄すること。

**3. 組成及び成分情報 混合物/単一化学物質の選択: 混合物**

成分名	含有量 (%w/w)	CAS 番号	化審法番号	化学式
酢酸	9%	64-19-7	2-692	C2H4O2
ノナン酸 (ペラルゴン酸)	5%	112-05-0	2-608	C9H18O2
柑橘類テルペン (リモネン)	2%			
水を含むその他の成分	残分			

危険有害成分

安衛法「表示すべき有害物」該当成分：酢酸  
安衛法「通知すべき有害物」該当成分：酢酸

#### 4. 応急処置

吸入した場合	新鮮な空気のある場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。 気分が悪い時は医師に連絡すること。
皮膚（又は髪）に付着した 場合	多量の水と石けん（鹼）で洗うこと。 皮膚刺激が生じた場合：医師の診断/手当てを受けること。
眼に入った場合	水で数分間注意深く洗うこと。 コンタクトレンズを着用している場合、容易に外せる場合は外してよく洗浄を続けること。 眼の刺激が続く場合は医師の診断/手当てを受けること。
飲み込んだ場合	口をよくすすぐこと。気分が悪いときは医師に連絡すること。
急性症状及び遅延性症状 の最も重要な徴候症状 （酢酸）	吸入：咽頭痛、咳、灼熱感、頭痛、めまい、息切れ、息苦しさ。 皮膚：痛み、発赤、皮膚熱傷、水疱。 眼：発赤、痛み、視力喪失、重度の熱傷。 経口摂取：咽頭痛、灼熱感、腹痛、嘔吐、ショック/虚脱。
応急処置をする者の保護	救助者はゴム手袋と密閉ゴーグルなどの保護具を着用する。

#### 5. 火災時の措置 消火剤

適切な消火剤	周辺設備に適した消火剤を使用する。
化学物質から生じる特定の危険 消化を行う者への勧告	加熱すると分解し、有毒ガス（炭素の酸化物やを含む）を発生することがある。 関係者以外は安全な場所に退去させる。
特有の消化方法	霧状水により容器を冷却する。
消火を行う者の保護	保護手袋/保護衣/保護眼鏡/保護面を着用すること。

#### 6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護 具及び緊急時措置	関係者以外は近づけない。 回収が終わるまで十分な換気を行う。 皮膚や目への接触を避ける。 適切な保護具を着用する。
環境に対する注意事項 漏出封じ込め及び浄化方法と 機材	上水源、河川、湖沼、海洋、地下水に漏洩しないようにする。 漏れた液やこぼれた液を密閉式の容器に出来る限り集める。 少量の流出は拭き取る。 大量の流出は、スポンジ等の吸収性材料と一緒に流出を止める。
二次災害の防止策	漏出物を回収すること。

#### 7. 取り扱い及び保管上の注意

安全取り扱い注意事項	ご使用前に製品ラベルをよくお読みください。 本液の目や皮膚への接触や散布霧の吸入を避けてください。 8 欄で指定されている保護具を着用する。 換気の良い場所で使用してください。 皮膚に触れないようにする。 眼に入らないようにする。
配合禁忌等、安全な保管条 件、適切な保管条件	食品と離して、換気の良い場所で保管すること。 容器を密閉しておくこと。 涼しいところに置くこと。

## 8. ばく露防止および保護措置

管理指標	管理濃度データなし 許容濃度 (酢酸) 日本産衛学会(1978) 10ppm; 25mg/m3 (酢酸) ACGIH(2003) TWA: 10ppm STEL:15ppm (上気道および眼刺激、肺機能) (ノナン酸) 日本産衛学会 (2007) 200ppm、1,050mg/m3 (ノナン酸) ACGIH(2012) TWA:200ppm
ばく露防止 設備対策	適切な換気のある場所で取扱う。 洗眼設備を設ける。 手洗い/洗顔設備を設ける。
保護具	呼吸用保護具 換気が不十分な場合、呼吸用保護具を着用すること。  手の保護具 保護手袋を着用する。  眼の保護具 側面シールド付安全メガネを着用する。  衛生対策 眼、皮膚、衣類につけないこと。 取扱い後は汚染箇所をよく洗うこと。 この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと。 汚染された衣類を脱ぎ、再使用する場合には洗濯をすること。 取扱い後はよく手を洗う。

## 9. 基本的な物理的および科学的性質に関する情報

物理的な状態	物理的状态が変化する特定の温度/温度範囲
形状	無色透明
色	白色乳濁液
臭い	柑橘系/酢、特有な臭気あり/ペラルゴン酸
pH (ニート) :	<b>2.5 - 3.5</b>
初留点/沸点 :	> 100 °C
融点/凝固点 :	<b>&lt;0°C</b>
引火点 : 不燃性	不燃性
比重/密度 :	約 <b>1.0</b>
溶解度 : 水に対する溶解度	混和する

## 10. 安全性及び反応性

化学的安定性	推奨される保管および使用条件下で安定。
危険有害反応可能性	推奨される保管および使用条件下で安定。 ※弱酸であり、強酸化剤と激しく反応する。 強塩基、強酸およびその他の化合物と反応する
避けるべき条件	火源、熱、混触危険物質との接触。
混触危険物質	強酸、強塩基、強酸化性物質
危険有害な分解生成物	加熱して分解すると、炭素酸化物を含む有毒ガスが発生

## 11. 有毒性情報・毒性学的影響に関する情報

### 急性毒性

#### 急性毒性（経口）

[日本公表根拠データ]

(酢酸) ラット LD50 値 = 3310、3530 mg/kg、JIS 分類基準:区分外国連分類基準: 区分 5

(ノナン酸) LD50>10,000 mg/Kg

#### 急性毒性（経皮）

[日本公表根拠データ]

(酢酸) ウサギ LD50 値 = 1060 mg/kg 区分 4

#### 急性毒性（吸入）

[日本公表根拠データ]

(酢酸) ラット LCLo: 16000 ppm 区分 4 あるいは区分外

飽和蒸気圧濃度の 90% (20394.7ppmV \* 0.90 = 18355ppmV) より低い]で、分類にはガスの基準値を適用した。

局所効果

#### 皮膚腐食性・刺激性

[日本公表根拠データ]

(酢酸)

刺激性の程度はばく露の濃度と時間に依存し、特に 50~80%以上の濃度では重度の熱傷と痂皮形成が観察されている。EU 分類 C;R35、区分 1

#### 眼に対する重篤な損傷・刺激性

[日本公表根拠データ]

(酢酸)

ウサギ眼に氷酢酸の適用は破壊的損傷を生じる、10%以上の濃度で永続的角膜損傷を伴う重度の刺激性を示した (IUCLID (2000)) ヒトで誤って眼に入れた場合角膜混濁や虹彩炎を起こし、角膜混濁は永続的であった例もあり。区分 1

#### 感作性

##### 呼吸器感作性

[日本公表根拠データ]

(酢酸)

まれに酢酸による惹起に陽性反応を示した気管支喘息の患者や、酢酸に即時型アレルギーの報告もあるが稀な症例である。当該物質と喘息発作の関連性は否定できないため、取り扱いには十分な注意を要する。

#### 生殖細胞変異原性

[日本公表根拠データ]

(酢酸)

in vitro 変異原性試験ではエームス試験および CHO 細胞を用いた染色体異常試験: いずれも陰性

#### 発がん性

[日本公表根拠データ]

(酢酸)

データ不足のため分類できない。

#### 生殖毒性

[日本公表根拠データ]

(酢酸)

ラットを用い出産から 18 日齢までのばく露した試験およびマウスの器官形成期に経口投与試験で授乳影響あるいは仔の発生に対する悪影響の記載ない。しかし、交配前からのばく露による親動物の性機能および生殖能に及ぼす影響に関してはデータがな

い。催奇形性データなし

短期ばく露による即時影響、長期ばく露による遅延/慢性影響特定標的臓器毒性  
特定標的臓器毒性（単回ばく露） [区分 1]

[日本公表根拠データ]

(酢酸)

ヒトで氷酢酸または大量の酢酸を摂取後、播種性血管内凝固障害、重度の溶血、  
虚血性腎不全を起こした症例報告が複数あり、区分 1（血液）

ヒトで吸入暴露による鼻、上気道、肺に対する刺激性の記載（PATTY（5th,  
2001））、「ヒトが蒸気を吸入すると気道腐食性、肺水腫が見られることがある、実  
際に石油化学工場での事故によるばく露で気道閉塞と間質性肺炎を発症した報告  
（ACGIH（2004））がある。区分 1（呼吸器系）

吸引性呼吸器有害性データなし

## 12. 環境影響情報

生態毒性

水生毒性（急性）成分データ

水生毒性

[日本公表根拠データ]

(酢酸)

甲殻類（オオミジンコ）での 48 時間 EC50 = 65000µg/L（AQUIRE, 2010）であ  
ることから、区分 3 とした。

水生毒性（長期間）成分データ

[日本公表根拠データ]

(酢酸)

急速分解性があり（BOD による分解度：74%（既存点検, 1993））、かつ生物蓄  
積性が

低いと推定される

（log Kow=-0.17（PHYSPROP Database, 2009））ことから、区分外とした。

水溶解度

(酢酸)

混和する（ICSC, 2010）

残留性・分解性

(酢酸)

BOD による分解度：74%（既存化学物質安全性点検データ）

生体蓄積性

log Pow=-0.17（PHYSPROP Database, 2005）

土壤中の移動性データなし

オゾン層破壊物質データなし魚毒性

## 13. 廃棄上の注意

廃棄物の処理方法

廃棄の前に可能な限り無害化する。安定化及び中和などの処理を行なって危険有害  
性のレベルを下げる。都道府県知事などの許可を受けた産業廃棄物処理業者、  
もしくは地方公共団体がその処理を行なっている場合には、そこに委託して処理す  
る。

汚染容器および包装

容器は清浄して関連法規ならびに地方自治体の基準に従って適切な処分を行う。  
空容器を廃棄する場合は、内容物を完全に除去する事。

## 15. 適用法令

当該製品に特有の安全、健康及び環境に関  
する規則/法令

労働安全衛生法  
名称等を表示し、又は通知す  
べき危険物及び有害物

毒物及び劇物取締法に該当しない。

名称表示危険/有害物  
酢酸、ノナン酸  
名称通知危険/有害物  
酢酸、ノナン酸

腐食性液体（規則第 326 条）  
酢酸

化学物質管理促進(PRTR)法に該当しない。

消防法に該当しない。

化審法に該当しない。

船舶安全法に該当しない。

航空法に該当しない。

---

## 16. その他の情報

### 参考文献

Globally Harmonized System of classification and labelling of chemicals, (5th ed., 2013), UN Recommendations on the TRANSPORT OF DANGEROUS GOODS 19th edit., 2015 UN Classification, labelling and packaging of substances and mixtures (table3-1 ECNO6182012) 2012 EMERGENCY RESPONSE GUIDEBOOK(US DOT)  
2017 TLVs and BEIs. (ACGIH)  
<http://monographs.iarc.fr/ENG/Classification/index.php>  
JIS Z 7253 (2012 年)  
JIS Z 7252 (2014 年)  
2016 許容濃度等の勧告 (日本産業衛生学会)  
Supplier's data/information

### 責任の限定について

本記載内容は、現時点で入手できる資料、情報データに基づいて作成しており、新しい知見によって改訂される事があります。また、注意事項は通常の実施を前提としたものであって、特殊な取扱いの場合には十分な安全対策を実施の上でご利用ください。